

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（基本法制研修 B 第 7 期、第 2 部課程第 195 期）

兵庫県豊岡市 細田 正徳

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私は、基本法制研修 B 第 7 期（令和 3 年 10 月 12 日～10 月 29 日）と、第 2 部課程第 195 期（令和 4 年 1 月 18 日～3 月 10 日）に参加しました。派遣元の豊岡市は、兵庫県の北東部に位置し、北は日本海、東は京都府に接する、人口が約 7.8 万人のまちです。基本法制研修と第 2 部課程ともにコロナ禍での研修で、特に第 2 部課程では、感染が急拡大していく中での開始となり、期待と不安が入り混じるスタートでした。

2 基本法制研修 B 第 7 期

基本法制研修 B では、「行政法」、「民法」、「地方自治制度」、「地方公務員制度」、「地方税財政制度」について基本から学びました。日々の業務を遂行する中では、基本に立ち返って法律等に当たることがなかなかできませんでしたので、今回の研修は大変有意義なものとなりました。各講義では、基本を踏まえつつも判例など実例に基づき丁寧に指導いただきました。基本法制研修の最終段階には、“効果測定”という名の学生以来と言ってもよいテストに怯えながらも、同じフロアの仲間と一緒に談話室で対策を練り試験に臨んだことは、この自治大学校という研修・宿泊が一体となった施設ならではのもので、記憶に残るものとなりました。

3 第 2 部課程第 195 期

基本法制研修 B 第 7 期を無事に終え、後

ろ髪を引かれる思いで東京を後にし、11～12 月は、一旦、職場に戻って仕事に復帰しました。年が明けて 1 月にいよいよ第 2 部課程第 195 期が始まりました。再び自治大学校に戻れる嬉しさと、2 か月もの長丁場の研修をやり遂げることができるだろうかという一抹の不安も感じながらの入寮でしたが、基本法制研修で一緒だった仲間に加え、新たな仲間とともに総勢 35 名で第 2 部課程の研修をスタートしました。

第 2 部課程では、政策形成能力を高めるための基礎的な科目をはじめ、地方公共団体を巡る最新の話題について学ぶ課目など、第一線で活躍されている方々を講師に迎えた講義を受講することができました。なかでも、大社充講師の「観光による地方創生」や加藤博和講師の「地域を持続可能とする公共政策維持・確保策」は、所属する豊岡市でも直面する課題や参考となる取組事例であり、担当外の分野ではありますが興味深く受講しました。

そして、第 2 部課程のメインともいえる政策立案演習は、研修生が 6 班に分かれて、自分たちの決定したテーマについて首長への提案を念頭に置いた政策立案を行うものでした。私の所属した 3 班では、5 名の他の自治体職員の方々とチームを組み、「自治体における結婚支援施策」について政策立案を行いました。一口に同じ地方公務員と言っても、それぞれの所属する自治体によって事業の取扱いや政策の進め方などが異なる中で、いろいろな考えを持つ他自治体の職員の方々と意見を交わし、合意形成を図ったことは、大変良い経験を積むことができたと思います。最終日の政策立案発表の

結果、私たちの班は最優秀賞を受賞することができました。チームで一つの政策としてまとめることの難しさや苦労も含め、全員で喜びを噛みしめたとともに達成感に包まれ、より感慨深い研修となりました。

4 研修生活

コロナ禍での研修となり、全国の自治体からの参加者は、第2部課程では35名でした。コロナ禍前では100名を超える研修生が集まったと聞いていたため、それに比べると半分にも満たないこととなります。ただ、少ない分、寄宿舎の同じ階のフロアにとどまらず研修生全員とより一層の親交、絆を深めることができたと思っています。日中の研修を終えた夜には、各研修生にそれぞれ届いた地酒などの地元の名産品を分け合い、談話室で研修生それぞれの地元の話や職場のこと、また、プライベートなことまで語り合い、懇親を深めました。自粛により周辺のお店も営業制限がある中、感染対策を徹底し、可能な範囲でお店を訪れ、立川市の美味しい料理を堪能できたことは、とても思い出深いものでした。過度な自粛でなく、感染対策を行いながら、談話室での懇親や屋外施設でのテニスや野球、親睦ボーリング大会といったレクリエーション、周辺観光など、楽しく、充実した研修生活を過ごすことができました。

5 終わりに

研修後1か月が過ぎ、あの頃の充実した日々を懐かしみながら、現在、日々業務に励んでいるところです。この研修で出会った素晴らしい仲間たちとのネットワークを大事にし、今後、お互い行き詰った時には助け合うことができるような関係であり続け、この研修で学んだことを含め、所属する自治体に還元できるよう職務を遂行していきます。

最後に、今回の研修参加に背中を押してくれた所属自治体の上司、同僚や、たびたび地元名産品を贈って応援してくれた自治体大学校卒業生の先輩、そして、丁寧に指導や助言いただいた自治体大学校の教官、感染対策を徹底し研修を無事に進めていただいた教務部はじめ職員の方々に改めて感謝を申し上げ、「卒業生の声」とさせていただきます。



▲親睦に大いに役立った先輩からの差し入れ



▲卒業に際し政策立案演習3班メンバーと共に